



【特集】

学校給食



▲昭和34年ごろの給食の様子



▲コップパンとくじらの竜田揚げ
(昭和27年ごろ)



▲定番ソフト麺登場(昭和40年ごろ)



▲揚げパン登場(昭和39年ごろ)

小中学生の健康を支える「給食」

今も昔も、小中学生の健康を支える「給食」。午前に頑張
って勉強したあと、クラスのみんなと食べる給食は格別のお
いしさです。時代が変わり給食のメニューが変わっても、こ
のおいしさは変わりません。その裏には、長い歴史と給食に
携わる人たちのさまざまな想いがあります。そんな学校給食
の歴史や携わる人の想いを今回の広報いなの特集にしました。

学校給食のあゆみ

（取材協力：埼玉県学校給食会 給食歴史館）

日本の学校給食は、明治時代に山形県の寺院内に設立された小学校で、貧困家庭の児童を対象に昼食を提供したことが始まりとされています。その後戦争が起これば食糧難に見舞われた際に給食は一時中止されましたが、戦後の復興とともに給食が実施されるようになり、現在では日本の小・中学生のほとんどが給食を食べています。その過程で各時代の多くの関係者の熱意と努力でさまざまな困難を解決し、現在の充実した学校給食が完成したのです。

埼玉県では、昭和14年に現在の所沢市で給食が開始されました。全国で見ても先進的な取り組みでした。伊奈町では、昭和34年に小室小と小針小の2校で給食がスタートし、児童・生徒の増加とともに、徐々に広がっていきました。



▲初めて提供された学校給食

明治22年 山形県鶴岡町の私立忠愛小学校（大督寺という寺院の中に設置されていた）で貧困児童を対象に無料で昼食を提供した。これが学校給食の始まりとされている。

昭和14年 入間郡松井村（現所沢市）の尋常高等小学校でみそ汁給食が実施され、22年まで続いた。国が給食を施策として取り上げ、全国的にも広がりを見せる。

昭和16年ごろ このころから第2次世界大戦が激化。食糧難から昭和20年にはほとんどの学校で給食が中止されてしまう。

昭和21年12月11日 国から「学校給食実施の普及奨励について」という文書が発せられ、学校給食は全国的に再開され始める。

昭和29年6月3日 「学校給食法」が制定され、給食制度が法的に整う。

昭和34年 町内小学校で給食が開始される。

昭和38年 町内中学校で牛乳給食が開始される。

昭和46年 現在の伊奈中学校近くに共同調理場が建設される。

平成7年 阪神・淡路大震災が発生。全国の学校給食施設を利用して約60万食の炊き出しが行われる。

平成8年 現在の場所に伊奈町学校給食センターが建設される。

平成9年11月 埼玉県教育委員会は、毎年11月を「彩の国ふるさと学校給食月間」として、地元産食材の活用や郷土食への理解を通してふるさとへの愛着を深める学校給食活動を推進するとした。

平成12年 埼玉県内で県産小麦を100%使用した「さきたまロール」の供給が開始される。

平成17年 「栄養教諭制度」のスタートおよび「食育基本法」が公布される。

平成26年1月17日 友好都市提携協定を結んでいる茨城県つくばみらい市産の米を使用した給食が実施される。

平成30年11月21日 町内小学校で「みなかみDAY」として、友好都市提携協定を結んでいる群馬県みなかみ町の米を使用した給食が実施される。

※青字は伊奈町の歴史です。

学校給食会 給食歴史館

昭和31年、学校給食用の食材の供給や給食の普及充実事業を行う団体として学校給食会が設立され、平成22年に、一般の方に給食の歴史や食育についての理解を深めていただくための歴史資料館として開設されました。



埼玉県学校給食会 給食歴史館 大澤館長

「学校給食会の職員として40年間学校給食に携わってきました。一度給食会を定年退職してこの歴史館の館長になったのですが、歴史館にきた見学者の方の思い出などを聞けると、知らないことが聞けて逆に勉強になったりするし、とても楽しいです。子どもたちには、給食の歴史や携わる人の想いを理解して残さず食べてほしいです。」

※アクセスや開館日などは（公財）学校給食会 ☎ 048-592-2115 にお問い合わせいただくか「埼玉県 給食歴史館」で検索してください。